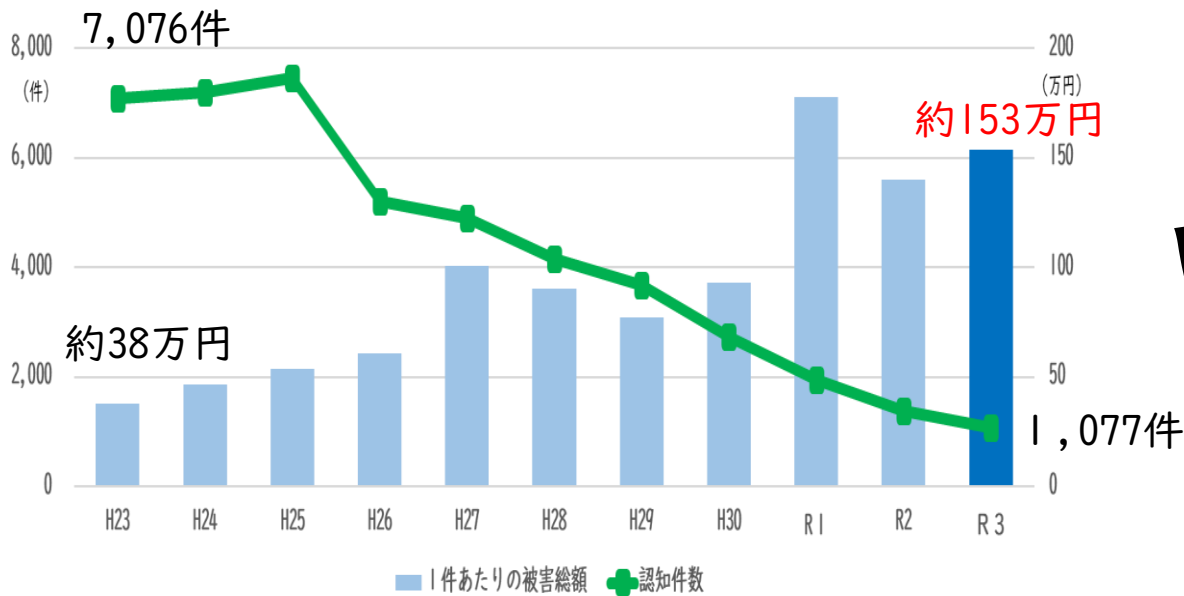


狙 い うち



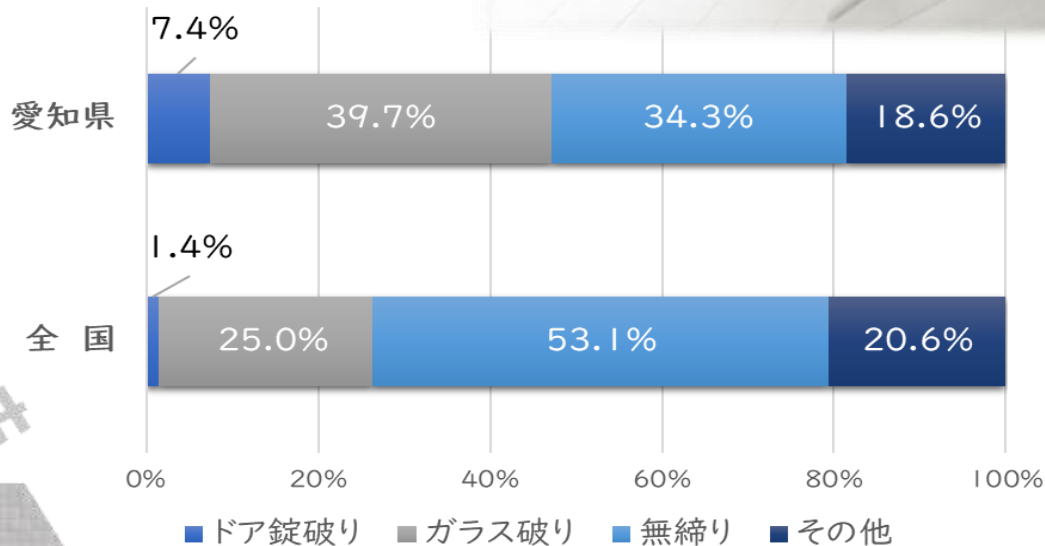
過去10年間の住宅対象侵入盗認知件数と1件あたりの被害総額の推移

愛知県の令和3年中の住宅を対象とした侵入盗の認知件数は1,077件で減少傾向にありますが、1件あたりの被害総額は約153万円と、近年増加傾向にあります。

組織窃盗グループによる「狙いうち」の被害も多発しており、名簿、SNS、過去に発生した高額窃盗現場等を調べ上げた上で犯行を敢行していると思われます。

また、玄関等の扉をバール様のものでこじ破る、窓ガラスを割って侵入する破壊侵入の割合が全国と比較しても高い実態にあります。

破 壊



住宅対象侵入盗侵入手段の割合

令和3年中

住宅どろぼうの 実態と対策



令和4年2月
生活安全総務課

窓の施錠は確実に！補助錠も活用

出かける際、就寝時、在宅時にも必ずカギをかけましょう。

補助錠は、サッシの上部に取り付けると、より効果が得られます。



上部に付いた補助錠は、外からだど手が届きにくい…



玄関等の扉にはガードプレートを設置

ガードプレートは、ドアの枠とドアの隙間をふさぐプレートのことです。バール等の工具によるこじ入れを難しくします。

※建材メーカーによっては、純正以外の防犯設備を後付けすると保証期間内であっても対象外となる可能性がありますので、設置の際はメーカー等に確認してください。



ガードプレート

自己資産、行動等の情報をSNSでタイムリーに発信しない

組織窃盗グループが個人情報を綿密に収集した上で狙いうちに行っている実態があります。住所やタイムリーな行動が特定されるようなSNSは投稿しない。他人に個人情報（自己資産）を必要以上に話さない。第三者を自宅に招き入れる際には貴重品等を目に触れさせないようにしましょう。



機械警備による早い段階で異常を知らせるシステム構築

ドロボウは犯行中に大きな警報音がしたり、人に見られたり、通報されることを嫌います。侵入検知センサーを敷地内の複数箇所に設置したり、警告音を鳴らすシステムを導入する等、早い段階で周囲に異常を知らせることが大切です。

スマートフォンのカメラで読み取りダウンロードしてください

スマートフォン用アプリ「アイチポリス」では、お住まいの地域で発生した犯罪情報等をタイムリーに配信しています。その他にも「刃物を持った犯人が逃走中」など緊急に注意が必要な事件の発生情報をいち早く知ることができます。



iOS端末



Android端末

